

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
13	長谷川祐司（4）	<p>1. 富士市内の記録的豪雨による被害状況及び今後の対応策について</p> <p>昨年台風及びゲリラ豪雨により全国各地で河川の氾濫、洪水、土砂崩れ等、甚大な被害が多発いたしました。私は令和元年9月定例会において「富士市内を流れる河川の日々の管理状況について」質問させていただきました。この間、富士市の河川課及び県富士土木事務所により、潤井川の土砂の撤去や田子江川の水草撤去といった危険個所への対応を実施していただき、引き続き河川対策に尽力していただくよう要望いたしました。</p> <p>さて、本年7月に記録的な大雨・豪雨により、日本三大急流のうち、熊本県の球磨川、山形県の最上川の2つの河川で相次いで氾濫が起きています。</p> <p>もう一つの日本三大急流である富士川につきましては、先日、最大規模降雨を想定し作成された、富士川が氾濫した際の富士川逃げどきマップ（富士川洪水ハザードマップ）が対象地域に配布されました。その中では、洪水時の避難行動計画として、大雨時の危険性と避難の方向を確認し、避難する場所と方法を決めましょうという内容が記載されています。</p> <p>しかし、ハード対策に絶対はありません。雨の降り方が変わりつつある今、ハード対策のみでは十分ではないと言われております。</p> <p>7月26日、富士市内では、記録的な大雨・豪雨により小さな河川、側溝の氾濫や道路の冠水、床下浸水などの被害があったと伺いました。</p> <p>まずは、全ての市民が自らの命を守る行動を取っていただくことが大切です。被害を最小限に押さえることで市民の命だけでなく財産も守ることができると思います。</p> <p>そういった意味でも、特に常態化している危険な地域、箇所への改善・対策についても急がなければならないと考えます。</p> <p>そこで質問いたします。</p> <p>(1) 今後、さらなる台風や豪雨により富士市内で災害につながる緊急性・危険性が高い地域、箇所について把握できているでしょうか。</p> <p>(2) 危険性の高い箇所について改善・対策を実施していく計画はあるでしょうか。</p> <p>また、市内で合併処理浄化槽を設置されているお宅の中には、今回の豪雨により小さな河川や道路の側溝が氾濫し、周囲が冠水してしまったことにより、合併処理浄化槽から逆流し、お風呂場やトイレから汚水があふれてしまったお宅もあると伺いました。</p> <p>そこで質問いたします。</p> <p>(3) 市内の公共下水道区域外などで合併処理浄化槽設置時に</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
13	長谷川祐司（4）	<p>しっかりと排水できる河川や側溝等の整備は整っているのでしょうか。</p> <p>(4) また、今回のような逆流を防げるような仕組みを合併処理浄化槽設置時に設けることはできないのでしょうか。</p>	<p>市長 及び 担当部長</p>